

笑顔のまつやまわがまち工房 Re鹿島く鹿島にぎわい大作戦！

市民メンバー24人が、鹿島の活性化を市長に提案

地元の学生などで構成する市民メンバーが市職員と協働で調査・研究し、市長に提言する「笑顔のまつやまわがまち工房」の報告会が、11月14日、坂の上の雲ミュージアムで開催されました。テーマは北条・鹿島の活性化を考える「Re鹿島く鹿島にぎわい大作戦」。メンバーが4グループに分かれ、約4カ月間にわたる研究や現地視察の成果を発表しました。



■キャンプ場の利用プラン

鹿島キャンプ場には無料の炊事棟や炭捨場があり、バーベキューを気軽に楽しめる環境が整っている。そこで、モデルプランを作り、サークル合宿などの利用を進める。鹿島周辺の地図に、「買い出しができる店舗」や「宿泊施設」などを載せるほか、渡船の1日フリーパス券を導入するなど、島内各施設の利用方法を分かりやすく掲示し、利便性を高める。

■竹灯籠でライトアップ

若者はSNS映えやアートに興味がある。また、鹿島の行事が冬から春にかけて少ない。そこで、桜の開花時期に竹灯籠でのライトアップイベントを開催し、多くの来島者を呼び込む。イベントの目玉となる、アートの制作中心に、大学生や来場者などが制作した、たくさん竹灯籠で周辺を彩る。北条地域のグルメブースや音楽ステージも実施し、さらに雰囲気盛り上げる。

■「恋活」イベント

婚活の一手前、恋人を作るイベント「恋活」で、鹿島沖を回る「周遊船」と鹿島に「恋人の聖地サテライト」があることを多くの人に知ってもらい、周遊船の利用を増やす。参加者は、恋人の聖地モニュメントが



63333・FAX 93423336
948

■アウトドアで交流

鹿島の自然やキャンプ場施設を活かし、他の学校とのつながりを深め、多くの人を集める。若者のアウトドア離れを解消し、キャンプ場の利用者増につなげる。アウトドアの達人から自炊方法やキャンプ道具の使い方や学ぼうが、ゲームや音楽、たき火で一体感を作り、鹿島で1泊する。募集から開催中も含めてスタッフと参加者がSNSで情報発信する。



ある山頂までの登山や、カラフルに飾り付けた周遊船で、クイズやゲームを楽しんでもらう。成立したカップルが後日、再来島した時に、北条の特産品をプレゼントする。



三木 結奈さん
(愛媛大学3年生)

グループ内で意見をまとめるのが大変でしたが、訪れた人に、楽しみながら鹿島を知ってもらえる企画を完成させました。企画を実現できるよう、これからも関わっていききたいです。

東京ヤクルトスワローズが松山で秋季キャンプ

11月1~21日

少年野球教室や小学校訪問などで子どもたちと交流



児童が逃げる鬼ごっこ



綱引きは選手たちも本気です



サインのプレゼントありがとう



空港での歓迎セレモニーの様子



プロからの直接指導は一生の宝



高津監督に伊予牛を贈呈



児童たちから歓迎の気持ちを込めて



アドバイスを聞く姿は真剣そのもの

恒例となった東京ヤクルトスワローズの秋季キャンプが、11月1日から21日まで、坊っちゃんスタジアムを拠点に行われました。期間中は、少年野球教室や市内小学校への訪問などが行われ、選手と多くの市民が交流を深めました。